

全統共通テスト模試の活用法

1. ～個人成績表の見方～(ANTENNA p. 5～8)



- ① 個人成績表第1面の右上を見て下さい。
学年、性別、クラス、番号、氏名(カタカナ)は正しく記載されていますか？
模試も本番さながらの緊張感をもって臨んでいかないと、このようなミスが命取りになってしまいますよ。気を付けること。
- ② 各科目の得点を自己採点の得点と比較して下さい。
今回の模試は、大学入学共通テストと同じ形式の試験。共通テストでは、問題冊子にメモした解答を元に自己採点を行い、その結果で出願する志望校を決めます。マークシートの記入ミスや問題冊子への転記漏れがあると、自己採点結果と実際の得点に差ができてしまいます。自己採点と実際の得点とのずれがないか、今のうちから確認しておきましょう。共通テスト模試の都度実践し、差がなくなることが理想です。
- ③ ① 成績概況や② 志望校別成績・評価で自分の現状を知って下さい。現実から目をそむけないで下さい。自分の位置と目標の位置を客観的に認識して下さい。また、科目別偏差値から科目間差や科目間のバランスを見て、苦手科目を客観的に把握し、自分は苦手だと思っている科目も早期のうちに努力で変化させていかなければなりません。
次に、評価にG(科目不足)やH(範囲不足)はついていませんか。GやHのついた人は、志望大学に必要な教科・科目を早急にしっかり調べて下さい。
- ④ 模試の結果で一番重要なのが、第2面の③ 設問別成績です。判定に一喜一憂している場合はありません。ここをしっかりと見て、今後の対策をしっかりと練っていきましょう。③ 設問別成績は設問別に全国平均との差を確認できます。自分の弱点、復習すべき分野が見えてきます。把握したら次の行動に。

2. もう一度、模試のやり直し(復習2回目)



第3面 ④ 正答・誤答マーク読み取り状況を見ながら復習の2回目です。二度と同じ間違いを繰り返さないという気持ちをもって臨んで下さい。その際には、解答だけでなく、ANTENNA p.16～の学習対策にも目を通して下さい。きっと、受験生に共通する不得意分野、差がついた問題、不得意科目・分野の征服法などを知ることができ、今後の学習方針や計画を立てていくのに役立つはずです。

受験勉強は始まったばかりです。始めてますか？
模試の結果を見てへこたれている場合ではありませんよ。
勝負は、第一志望大学の入試日です。
今の学力は入試日の学力ではありません。
今回の模試の判定は入試日の判定ではありません。
E判定は、皆さんが奮起するための良い判定のほうです。
受験勉強を意識してから成果が出るまでには半年はかかります。
最も伸びるのは1月末から3月です。
そのために、今頑張らずに、いつ頑張るのですか？
各自の目標に向かって、地道な努力を続けていきましょう。
粘り強く努力を積み重ねていけば、試験当日まで大きく伸びます。
自分を信じて、しっかり取り組んでいきましょう。平城高校生ならできるはずです。



1. 学力 2. 体力 3. 気力

この3つの力が大切です。

(進路指導部)

模試を最大限に活用するために！

1. 模試を受ける意義

1. 現在の学力を把握し、志望大学との距離をつかむ。→ 自分の学力を知り、今後の学習の目安にする。
2. 弱点を知り、今後の学習方針を立てる → 誤った箇所は必ず復習し、今後の学習指針とする。
3. 学習のペースメーカーとする。 → 次の模試を目標に学習を進める。

2. 模試の活用方法



模試に向けての準備

1. 目標設定 模試を受ける目的と心構えをもつ。

- … 志望校や、前回の受験結果を参考に、目標を立てて受験に向けた意識を高める。各科目において、「この分野はどこから出題されても大丈夫」という分野をつくっていくよう学習計画を立てて、実践する。

模 試 受 験

2. 模試受験 本番試験の気持ちで受験

- … 模試は本番のシミュレーション。
毎回本番のつもりで、時間配分を考えて全力投球で！

すぐに復習1回目

3. 模試終了後 模試終了後に自己採点

- … できるだけ記憶の鮮明なうちに自己採点を行い、間違えた問題や得点率の低かった分野を明確にする。当日に1回目の復習を心がけましょう。

♪模試の解答解説集は丁寧に解説されています。
復習に大いに役立てていきましょう。
答え合わせだけでは模試の復習をやったとはいえませんよ。

模試で解けなかった問題・分野は今後の課題です。

答案・個人成績表返却

4. 成績返却後 現在の学力と志望大学との距離を把握し、学習計画を立てる。

- … 成績をしっかりと確認し、現在の自分の学力状況を把握する。
設問別成績に注目!!ライバルと差がついた弱点問題をあらためて復習するとともに、学習のアドバイスを参考に今後の学習計画を立てる。

ここで復習2回目

5. 「模試復習ノート」の活用

- … 返却された答案を見ながら復習2回目。
二度と同じ間違いを繰り返さないために、「模試復習ノート」を作ろう。

忘れた頃に復習3回目

- … 出来なくても諦めない。復習を何度も繰り返すことで、弱点は克服できる。



**苦手分野・科目を正確に把握し、
弱点補強に役立てることこそ模試受験の意味があります。**

